

平成29年度：「明正中学校入学式 式辞」 4 / 6 大角

◎春が来ました。出会いの季節、新生活のスタートの季節です。中庭には、明正桜が、キレイに咲いています。

この度、年度末の人事異動で長島中学校から転任して参りました、校長の 大角宏二 です。どうぞよろしくお願ひします。

本日の入学式には、PTA 会長の「表 健一郎さま」にご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。これからも明正中学校の生徒のために、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

◎本年度、新入生146名のみなさんをお迎えして、全校生徒「464名」となりました。新入生のみなさん 入学おめでとう！！ようこそ明正中へ。

保護者の皆様 本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

着任して、4 / 3 : 第1回の職員会議で、先生たちに、「プロ意識と協調性をもって、明正中の生徒を我が子だと思って教育活動を展開しよう！」という話をしました。

我々には、「学力保障」「子どもの人権を守る」「子どもの安心安全」という三つの課題を克服するという大いなる責任がある。「教育は目の前の子どもから始まります」自分たちは、未来に貢献する子供達のために「人格」を磨き続けなければならないと考えています。

保護者のみなさまと、私たち学校の職員が、力を一つにして、同じ方向を

向いて、子どもたちを支援援助することで、子ども達の力が一層引き出され、安全で安心な学校生活につながっていくと考えています。

これからの3年間、保護者のみなさまのご期待にそえるように、一生懸命努力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

◎新入生のみなさん。今日 みんなに会えた。嬉しいです。大歓迎です。

この明正中は、歴史のある古い学校。今年で69歳。桑名で二番目の中学校として独立したので、セーラー服のラインが二本になっています。

あちらこちらに、修理のあともあるけれど、先輩たちは、みんなの学校を大事につかおう。きれいにしようという気持ちで学校生活を送ってくれているのです。今日から、たくさんの「初めて」があります。たくさんの「ドキドキ」があります。日常生活の「行動範囲」や「世界」が広くなり、すこしずつ親離れが始まっていくのです。それが、成長だと思えます。

また、たくさんの「緊張」や「不安」もあると思う。でも、新しい出会いのなかで、「よしやるぞ！」という、強い自分の思いを持つとともに、みんな、不安でドキドキしているはずだから…「少し、周りに気をつかう、優しさも持ってほしい」のです。そして、ここにいる146人でつながって行ってほしい。

「きみたち、ひとり一人は、かけがえのない存在で、豊かに育つ権利」があるのです。

中学校では、「人権」とは、幸せであること。幸せに生きることだと学びます。そして、「幸せなこと」とは、「健康」「豊かさ」「良き人間関係」の三つだと学びます。

新しい出会いの中で、良き人間関係を築いて、新しい「仲間」を得て欲しい。「前向きに、仲間とともに自分を鍛える明正中生になって、仲間と共に生きる力をつけていこう」

◎校長先生は午前の始業式で、2・3年生たちに、「チーム明正」「生徒は、われわれ教師のエネルギーなんだ。みんながいてくれるからがんばることができる」という話をしました。

そして、合い言葉は「なかま」。キーワードは「強い心」と「夢実現」だ。とも話しました。

○中学校は勉強するところで、「明正中では、心の力をつける勉強・身体力をつける勉強・そして、学ぶ力をつける勉強をします」

「授業は団体戦」「部活動は団体戦」そして、「進路も団体戦」なのです。

○新入生の皆さんが、一日も早く中学校に慣れて、明るく元気に、充実した中学校生活を送ることを心から期待しています。

これから3年間、一緒にがんばりましょう。終わります。